

その他の医療保健業における死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労働 者規 模
2018	1	8 ～ 9	夜間の血液供給業務に従事する被災者は、医療機関に血液製剤を配送し、その後、インターチェンジにおいて県外の血液センターからの中継を終えて、事業場の事務所に戻るため、自動車道下り線を走行していた。トンネルの入り口から約200メートル付近で単独事故により横転し、追越車線を閉塞していたトラックに、被災者が運転する車両が追突し、死亡した。	231	17	100 ～ 299
2018	2	10 ～ 11	利用者宅へ訪問看護のため、軽自動車で県道を運転し停止中、後方から接近してきた中型トラックに追突された。その弾みで被災者が運転していた軽自動車が対向車線にはみ出し、別のトラックと正面衝突した。	221	17	1～9
2017	5	20 ～ 21	被災者は所属事業場から他の鍼灸接骨院に向かうため、大型自動二輪車で道路を直進中、薬局の駐車場に入るために右折した普通自動車と接触した。	231	17	10～ 29
2015	11	16 ～ 17	歯科医院に勤務する被災者がごみ出しのために歯科医院の駐車場から歩道に出ようとしたところ、走行してきた自転車に駐車場で衝突され、頭部ほかを強打し、搬送先の病院で翌日死亡した。	239	6	1～9
2014	6	19 ～ 20	窓清掃作業中、ブランコ作業を行っていた被災者が、墜落し、下方にいた同僚に激突。墜落した被災者と、激突された被災者は共に死亡した。	231	17	50～ 99
2013	9	9 ～ 10	被災者は、業務により国道を走行中、対向車線にはみだし大型トラックと正面衝突した。	231	17	300 ～ 499

2010	2	19 20	被災者は試薬、検体等を各支店に搬送する業務を行っており、災害発生時も次の支店へ向けて国道をワゴン車で走行していた。前車がトラック2台を追い越したので、自車も続いて追い越そうと対向車線にはみ出したとき、対向車線を走行してきた運送会社のトラックと正面衝突し、反動で2台前のトラックに接触した。なお、相手側は対向してきたトラックの運転手だけ負傷した。現場の天候は吹雪いており視界が良くない状況であった。	231	17	100 ~ 299
2008	2	9 10	被災者が市内で開催される会議に出席するため、被災者の運転する軽ワゴン車で国道を歩行中に対向車線にはみ出したため、対向してきた軽自動車に接触後、後続のトラックと正面衝突した。	221	17	1~9
2008	5	1 2	被災者は24時間対応で訪問看護を行う事業場で、看護師として緊急連絡や看護業務などに従事していた。業務終了後、自宅に帰宅し、翌日、家族が異常に気づき病院に搬送されたが、死亡した。	921	90	1~9
2006	8	13 14	病院の病歴管理室において、入院カルテ管理作業中、机の上でカルテを束ねていたところ、カルテが机の上から落ちて被災者に当たった。勤務終了まで痛みを我慢していて、当初予定していた人工透析を受ける診療所へ直行し、応急処置を行うも症状が悪化し、別の病院で緊急手術を行ったが、死亡した。	611	7	1000 ~ 9999
2004	2	10 11	宿泊先のホテルから健診会場に徒歩で向かっていたところ、国道と町道との交差点で、右折したダンプトラックにひかれた。	221	17	10~ 29
2003	4	18 19	集荷業務を終えて乗用車で国道を走行中、登り右カーブで速度超過とハンドル操作ミスのためセンターラインを越えてきた対向車と正面衝突した。	231	17	10~ 29
2000	3	15 16	入札の見積書提出のためワゴン車で走行中、対向のトラックが中央分離帯を越えてきたため正面衝突し、横向きをなったところを後続の大型トラックにも衝突された。	221	17	300 ~ 499
		8	巡回介護サービスのケア宅から次のケア宅へ自転車で移動中、歩道から渋			

1999	6	～	滞している車と車の間をすり抜けたところ、道路を直進してきた大型自動	239	17	10～
		9	二輪車(オートバイ)に跳ねられ、全身を強打した。			29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_30.htmlに戻る。